

石割山ハイキング



2003年12月14日(日)「石割山ハイキング」に出かけました。石割山は、山中湖から、道志みち(国道413号線)を500メートルほど行った場所を左折して、上り始めます。車だと相模原から2時間ほどなのですが、電車・バス利用だとちょっと面倒です。でも、石割山から眺める“富士山”と下山後の温泉をみんなで味わいたくて計画・実施したのです。

この日は、本当に雲ひとつない晴天に恵まれました。いきなりの果てしない石段を上り、石割神社の割れた岩の中を通り、山頂からの眺めは最高でした。富士山はもとより、雪をかぶった南アルプスの山並みもはっきりと見る事ができました。滑る下りに悪戦苦闘し、次の平尾山からの富士山と山中湖の眺めを堪能し、下山して、“石割の湯”で疲れを癒してさっぱりします。

帰りのバス停には“新宿行”の高速バスが停車していました。運賃はこちらの方が安いのですが、渋滞で定刻に着かないことは確実で、すでに1時間の遅れを見込んでいてさらにどのくらい遅れるかはわからない。結局、富士吉田駅から大月・八王子経由で帰ることにしました。バスは、富士吉田駅に約20分遅れで到着しましたが、電車は順調に時を刻みます。



ポイント故障

朝 7 時 30 分、JR 八王子駅横浜線ホームに集合したのは、小野さん、宮部夫妻、横山さん、板垣さん、町田の 6 名でした。7 時 37 分の高尾行に乗るために中央線ホームに移動します。この時、桜井さんは八王子駅に向かっていました。ポイント故障があり、5 分ほど遅れて到着したということ。でも、集合時間に間に合う町田方面から来る横浜線の到着時刻を調べてみると、7 時 23 分が最後で、この次は 7 時 35 分の到着です。5 分の遅れなら 7 時 23 分に乘っていればホームで会えたはず。ということは、桜井さんは 7 時 40 分に八王子駅に着き、7 時 52 分の中央線で高尾駅まで私たちを追いかけたのです。一方、私たちは予定通り、高尾駅 7 時 48 分の河口湖行に乗っていましたから、会うことはなかったわけです。

9 時 20 分、富士吉田駅で下車。9 時 40 分の平野行のバスに乗ります。山中湖で遊ぶならマイカーで行くでしょうし、シーズンオフでもあるので、バスは貸切状態です。道路もすいていて定刻の 10 時 17 分に山中湖湖畔の平野バス停に到着しました。

ここから道志みち（国道 413 号線）を 500 メートルほど歩くと左に小さな“石割神社前社”があり、左折します。石割神社の駐車場まで約 1 キロは舗装路を歩きます。10 時 40 分、石割神社の駐車場に着きました。ここが、いわゆる“赤い鳥居”でここが本当の出発地点です。



はてしなく石段は続き

“赤い鳥居”の前に立つと、一直線に続く長い長い石段が見えます。「今、見えている長さの 3 倍から 5 倍の階段が続きますから」一度ここを経験している町田は忠告します。みんな、きっとそんなに長いわけがないと思ったことでしょう。始めはなだらかだった石段は次第に急勾配になり、どんどん上がっていきます。それに合わせて私たちの心臓も呼吸も速くなっていました。とにかく見えている階段の最後を目指して頑張りすぎると大変な目に遭います。そこで曲がって見えない階段が待っていますから。なるべくゆっくり休みながら。

“赤い鳥居”から約 15 分、下から見えていた階段の頂上に着きます。階段は右折してまだ続いていました。ここから見える階段の最後は、それほど遠くはありませんが、くねくねと曲がりながら続いているかも...？一休みも二休みもして、心の準備をして再び石段を上ります。上りきると石段はそこで終わりでした。ということは“見えている長さの 3 倍から 5 倍”とは大ウソで“1.3 倍”でしたね（アハハ）。

右側に休憩所があり、振り返ると富士山が見えます。いきなりのクライマックスを終えて大休憩します。休みながら、後続のハイカーが到着すると「いやあ、よく上って来ましたね～」と小野さんが声をかけます。そう声をかけられたハイカーは本当にお疲れの顔で、長い石段が終わってホッとした表情です。「この石段が今日のハイキングコースのクライマックスだと思いますよ」



太りすぎたら 通れない！

ようやく、ハイキングらしいコースが始まりました。急勾配の石段とは違って変わり、やさしい土の道の緩やかな上りです。心地よく 15 分ほど歩くと、ちょっとしたビューポイントがありました。木々に遮られず富士山がそびえ、麓には山中湖がたたずみます。はぁ～っと身体も頭も一休みしてしまう風景なのですが、カメラを持っていると、こいつを家へ持って帰ろうとちょっと忙しくなってしまうたり...。再び歩くこと 5 分、石割神社に到着します。





石割神社は、大岩の正面が“石”という字に割れているため“石割”の名がついています。そして、ふたつに割れた岩の隙間を3回通ると運が開けるそうです。ということで、早速、隙間を通ります。“今年もあとわずか。来年がいい年でありますように”大岩の隙間は本当に人ひとりがやっと通れるほどで、肥りすぎたら挟まってしまいそうです。順番にみんなが通り終えたところで、立て札をよく読んでみたら、私たちは逆回りしていました。「じゃあ、さっきと反対周りに4回通らなくちゃ」宮部香与子さんと町田は正しい周り方で大岩の隙間をもう一度通りましたが、さらに3周するほど信心深いわけではありません。



山頂で冬を実感

ここから、いよいよ山登りという道に変わります。道幅は狭く、所々ロープの張られた急な上りも現れます。笹をかき分けながら上って行くと、広々とした山頂に到着しました。



何もさげものがない大きな富士山。思わず「おおお」と声が出てしまいます。富士山の麓には山中湖、右方向には雪に覆われた南アルプスがはっきり確認できます。標高1413メートルの山頂からとは思えないような素晴らしい眺めです。時刻はちょうど12時、もちろんここで昼食です。でっかい富士山を眺めながら昼飯といきたいところですが、山頂のメイン広場は霜が融けてドロドロ、横の草に覆われたエリアは先に来たハイカーに占領されています。それにちょっと風が冷たい。少し下った場所に高圧鉄塔が立っていて、その下が快適そ



うなので、移動し、ここでお弁当を広げました。最近ガスを持ち歩かない町田ですが、この日はさすがに暖かいものがあるといいなあと思いました。冬ですね。そういえば、去年の12月は宮部忠和さんとふたりで雪の「二十六夜山」でした。

滑ってたまるかっ！

富士山をバックに記念撮影を終えて出発です。日が当たり霜が融けたドロドロの急斜面を慎重に下ります。滑って転んだら大変！泥だらけになってバスや電車に乗るのも恥ずかしいかも…。メインのコースは滑って危険なので草のある場所を探して歩いて行きます。

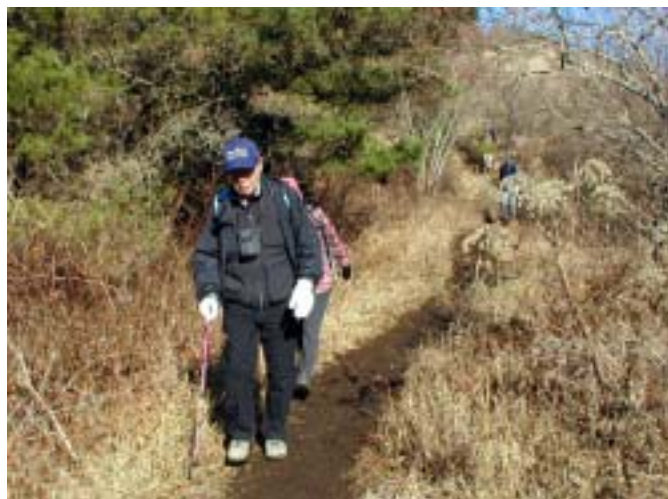




怖い急斜面は10分ほどでなだらかな尾根道の下りになります。富士山を正面に見ながらアカマツやカラマツの林を抜けて



行きます。富士山と松とはなんと日本的正月気分の風景。緩やかな斜面を下りきったところが平尾峠で左方向に平野方面に向かう道とぶつかります。直進して草原のような平らな道を進み、左方向に岬のように突き出した場所が平尾山山頂です。



風呂上がりのビールはおあずけ

標高は1290メートルと石割山からはだいぶ下がりましたが、その分山中湖が身近になり、富士山がさらに大きく感じられます。充分富士山を堪能し、いよいよ温泉を目指します。平尾峠まで戻り、平野方面の道に入ります。富士山を後ろに、右に見ながら下ります。予定では、最初の“赤い鳥居”に戻るはずでしたが、その分岐を見落とし、平野集落を通り、放り出された



場所は、国道413号線のすぐ手前でした。国道に出て左へ700メートルほどで“石割の湯”です。

温泉で疲れを癒し、めずらしく風呂上がりにビールを飲まず、平野バス停に向かいます。



中央高速バスの誘惑

15分でバス停到着。そこに待っていたのは、新宿行きの中央高速バスでした。バスはガラガラでした。運賃を尋ねると2050円。出発は15時50分。新宿到着は定刻で18時ですが、渋滞を見込んで1時間の遅れを予定しているとか。一方、15時55分のバスで富士吉田駅に行くと、16時32分に着いて、16時50分の富士急行線に乗り、大月で17時38分の高尾行きに接続し、八王子には18時40分頃の到着になります。橋本駅を基準に運賃を比較してみると、高速バスの場合、2050(バス)+430(京王線)=2480円 富士急行線利用の場合、700(バス)+1050(富士急行線)+820(JR)=2570円 その差は90円なのです。渋滞の遅れが1時間というのもあてにはなりません。というわけで、高速バスは見送り、次の路線バスで富士吉田駅に向かいました。バスは15分遅れで駅に着きましたが、16時50分の富士急行線には間に合いました。残念ながら、缶ビールを買う余裕はありませんでしたが…。久しぶりのノン・アルコール・ハイキングでした。



町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577-ホ-22-101 042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662

